

令和 6 年 6 月 28 日

県南広域振興局長 様

提出者 奥州金ヶ崎行政事務組合
住所 〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字仙人49
氏名 管理者 倉 成 淳



（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

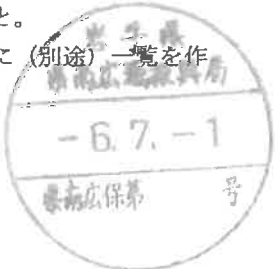
主たる工場又は事業場の名称	胆江地区衛生センター	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字仙人49	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	6,116 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	63 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
胆江地区衛生センター	〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字仙人49番地	5,455 kℓ
胆江地区広域火葬場さくらぎ苑	〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東鍛冶屋44番	214 kℓ
奥州金ヶ崎行政事務組合 消防本部	〒023-0854 岩手県奥州市水沢大鐘町二丁目16番地	159 kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

[illegible]

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(5)年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸 化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
	揮発油(ガソリン)		kL			kL						
	ナフサ		kL			kL						
	ジェット燃料		kL			kL						
	灯油	140.80	kL	5,139		kL	5,139	352		352		
	軽油	6.17	kL	234		kL	234	16		16		
	A重油	32.50	kL	1,264		kL	1,264	89		89		
	B・C重油		kL			kL						
	石油アスファルト		t			t						
	石油コークス		t			t						
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	6.20	t	311		t	311	19		19	
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
		一般炭	輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t					
	輸入無煙炭		t			t						
	石炭コークス		t			t						
	コールタール		t			t						
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³						
	高炉ガス		千m ³			千m ³						
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³						
転炉ガス		千m ³			千m ³							
その他の燃料	都市ガス	2.00	千m ³		千m ³		90		90			
	()											
	()											
非化石燃料	黒液		t			t						
	木材		t			t						
	木質廃材		t			t						
	バイオエタノール		kL			kL						
	バイオディーゼル		kL			kL						
	バイオガス		千m ³			千m ³						
	その他バイオマス		t			t						
	RDF		t			GJ/t						
	RPF		t			GJ/t						
	廃タイヤ		t			GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)	6,651.00	t	194,874		GJ/t	194,874	18,364		18,364		
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t						
	廃油		kL			GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³						
	混合廃材		t			t						
	水素		t			t						
	アンモニア		t			t						
	その他燃料()											
小 計 ①								201,823	18,930		18,930	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
	温水		GJ			GJ						
	冷水		GJ			GJ						
	地熱		GJ			GJ						
	温泉熱		GJ			GJ						
	太陽熱		GJ			GJ						
	雪氷熱		GJ			GJ						
	小 計 ②											
電気	電気事業者①	4,079.00	千kWh	35,243		千kWh	35,243	1,946		1,946		
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
		その他		千kWh			千kWh					
小 計 ③								35,243	1,946		1,946	
合 計 ④=①+②+③								237,065	20,876		20,876	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	6,116	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	20,876	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		20,876	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【胆江地区衛生センター】

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(5)年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸 化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
	揮発油(ガソリン)		kL			kL						
	ナフサ		kL			kL						
	ジェット燃料		kL			kL						
	灯油		kL			kL						
	軽油	1.29	kL	49		kL	49	3		3		
	A重油	20.00	kL	778		kL	778	55		55		
	B・C重油		kL			kL						
	石油アスファルト		t			t						
	石油コークス		t			t						
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0.10	t	5		t	5	0		0	
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
		一般炭	輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t					
	輸入無煙炭		t			t						
	石炭コークス		t			t						
	コールタール		t			t						
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³						
	高炉ガス		千m ³			千m ³						
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³						
	転炉ガス		千m ³			千m ³						
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³							
	()											
非化石燃料	黒液		t			t						
	木材		t			t						
	木質廃材		t			t						
	バイオエタノール		kL			kL						
	バイオディーゼル		kL			kL						
	バイオガス		千m ³			千m ³						
	その他バイオマス		t			t						
	RDF		t			GJ/t						
	RPF		t			GJ/t						
	廃タイヤ		t			GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)	6,651.00	t	194,874		GJ/t	194,874	18,364		18,364		
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t						
	廃油		kL			GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³						
	混合廃材		t			t						
	水素		t			t						
	アンモニア		t			t						
	その他燃料()											
	小 計 ①								195,706	18,422		18,422
	熱	産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気			GJ			GJ						
温水			GJ			GJ						
冷水			GJ			GJ						
地熱			GJ			GJ						
温泉熱			GJ			GJ						
太陽熱			GJ			GJ						
雪氷熱			GJ			GJ						
小 計 ②												
電気	電気事業者①	1,820.00	千kWh	15,725		千kWh	15,725	868		868		
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
		その他		千kWh			千kWh					
小 計 ③								15,725	868		868	
合 計 ④=①+②+③								211,431	19,291		19,291	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	5,455	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	19,291	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		19,291	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【胆江地区広域火葬場さくらぎ苑】

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(5) 年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO2)	対前年度比二酸 化炭素排出量 (t-CO2)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
	揮発油(ガソリン)		kL			kL						
	ナフサ		kL			kL						
	ジェット燃料		kL			kL						
	灯油	136.00	kL	4,964		kL		4,964	340		340	
	軽油	0.11	kL	4		kL		4	0		0	
	A重油		kL			kL						
	B・C重油		kL			kL						
	石油アスファルト		t			t						
	石油コークス		t			t						
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t					
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
		一般炭	輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t					
	輸入無煙炭		t			t						
	石炭コークス		t			t						
	コールタール		t			t						
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³						
	高炉ガス		千m ³			千m ³						
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³						
	転炉ガス		千m ³			千m ³						
その他の燃料	都市ガス		千m ³			千m ³						
	()											
	()											
非化石燃料	黒液		t			t						
	木材		t			t						
	木質廃材		t			t						
	バイオエタノール		kL			kL						
	バイオディーゼル		kL			kL						
	バイオガス		千m ³			千m ³						
	その他バイオマス		t			t						
	RDF		t			GJ/t						
	RPF		t			GJ/t						
	廃タイヤ		t			GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t						
	廃油		kL			GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³						
	混合廃材		t			t						
	水素		t			t						
	アンモニア		t			t						
その他の燃料()												
小 計 ①								4,968	341		341	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
	温水		GJ			GJ						
	冷水		GJ			GJ						
	地熱		GJ			GJ						
	温泉熱		GJ			GJ						
	太陽熱		GJ			GJ						
	雪氷熱		GJ			GJ						
	小 計 ②											
電気	電気事業者①	386.00	千kWh	3,335		千kWh		3,335	184		184	
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
その他		千kWh			千kWh							
小 計 ③								3,335	184		184	
合 計 ④=①+②+③								8,303	525		525	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	214	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	525	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		525	t-CO ₂

- 備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
- 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
- 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(5)年度											
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量			E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 表排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)		
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D						
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL							
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL							
	揮発油(ガソリン)		kL			kL							
	ナフサ		kL			kL							
	ジェット燃料		kL			kL							
	灯油	4.76	kL	174		kL		174	12		12		
	軽油		kL			kL							
	A重油		kL			kL							
	B・C重油		kL			kL							
	石油アスファルト		t			t							
	石油コークス		t			t							
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	6.00	t	301		t		301	18		18	
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³						
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t						
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³						
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t						
			コークス用原料炭		t		t						
			吹込用原料炭		t		t						
		一般炭	輸入一般炭		t		t						
			国産一般炭		t		t						
		輸入無煙炭		t		t							
	石炭コークス		t		t								
	コールタール		t		t								
	コークス炉ガス		千m ³		千m ³								
	高炉ガス		千m ³		千m ³								
	発電用高炉ガス		千m ³		千m ³								
転炉ガス		千m ³		千m ³									
その他の燃料	都市ガス	2.00	千m ³		千m ³			90		90			
	() ()												
非化石燃料	黒液		t		t								
	木材		t		t								
	木質廃材		t		t								
	バイオエタノール		kL		kL								
	バイオディーゼル		kL		kL								
	バイオガス		千m ³		千m ³								
	その他バイオマス		t		t								
	RDF		t		GJ/t								
	RPF		t		GJ/t								
	廃タイヤ		t		GJ/t								
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t								
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t								
	廃油		kL		GJ/kL								
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³								
	混合廃材		t		t								
	水素		t		t								
	アンモニア		t		t								
	その他燃料()												
	小 計 ①								474	120		120	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ								
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ								
	温水		GJ		GJ								
	冷水		GJ		GJ								
	地熱		GJ		GJ								
	温泉熱		GJ		GJ								
	太陽熱		GJ		GJ								
	雪氷熱		GJ		GJ								
小 計 ②													
電気	電気事業者①	660.00	千kWh	5,702		千kWh		5,702	315		315		
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh							
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh							
	自家発電	太陽光		千kWh		千kWh							
		水力		千kWh		千kWh							
		風力		千kWh		千kWh							
その他		千kWh		千kWh									
小 計 ③								5,702	315		315		
合 計 ④=①+②+③								6,177	435		435		

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	159	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	435	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		435	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【胆江地区広域交流センター】

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(5)年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸 化炭素排出量 (t-CO ₂)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
	揮発油(ガソリン)		kL			kL					
	ナフサ		kL			kL					
	ジェット燃料		kL			kL					
	灯油		kL			kL					
	軽油		kL			kL					
	A重油	12.50	kL	486		kL		486	34		34
	B・C重油		kL			kL					
	石油アスファルト		t			t					
	石油コークス		t			t					
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0.10	t	5		t	5	0		0
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³				
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t				
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³				
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t				
			コークス用原料炭		t		t				
			吹込用原料炭		t		t				
		一般炭	輸入一般炭		t		t				
			国産一般炭		t		t				
	輸入無煙炭		t			t					
	石炭コークス		t			t					
	コールタール		t			t					
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
	高炉ガス		千m ³			千m ³					
	発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³						
その他の燃料	都市ガス		千m ³			千m ³					
	()										
非化石燃料	()										
	黒液		t			t					
	木材		t			t					
	木質廃材		t			t					
	バイオエタノール		kL			kL					
	バイオディーゼル		kL			kL					
	バイオガス		千m ³			千m ³					
	その他バイオマス		t			t					
	RDF		t			GJ/t					
	RPF		t			GJ/t					
	廃タイヤ		t			GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
	廃油		kL			GJ/kL					
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
	混合廃材		t			t					
	水素		t			t					
	アンモニア		t			t					
	その他燃料()										
	小 計 ①								491	35	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
	温水		GJ			GJ					
	冷水		GJ			GJ					
	地熱		GJ			GJ					
	温泉熱		GJ			GJ					
	太陽熱		GJ			GJ					
	雪氷熱		GJ			GJ					
小 計 ②											
電気	電気事業者①	257.00	千kWh	2,220		千kWh		2,220	123		123
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh				
		水力		千kWh			千kWh				
		風力		千kWh			千kWh				
その他		千kWh			千kWh						
小 計 ③								2,220	123		123
合 計 ④=①+②+③								2,712	157		157

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	70	kL
--------------	----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	157	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		157	t-CO ₂

- 備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
- 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
- 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【胆江地区最終処分場】

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(5)年度									E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸 化炭素排出量 (t-CO ₂)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量									
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D							
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL								
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL								
	揮発油(ガソリン)		kL			kL								
	ナフサ		kL			kL								
	ジェット燃料		kL			kL								
	灯油		kL			kL								
	軽油	4.08	kL	155		kL		155		11			11	
	A重油		kL			kL								
	B・C重油		kL			kL								
	石油アスファルト		t			t								
	石油コークス		t			t								
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t							
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³							
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t							
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³							
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t							
			コークス用原料炭		t		t							
			吹込用原料炭		t		t							
		一般炭	輸入一般炭		t		t							
			国産一般炭		t		t							
	輸入無煙炭		t			t								
	石炭コークス		t			t								
	コールタール		t			t								
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³								
	高炉ガス		千m ³			千m ³								
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³									
転炉ガス		千m ³			千m ³									
その他の燃料	都市ガス		千m ³			千m ³								
	()													
	()													
非化石燃料	黒液		t			t								
	木材		t			t								
	木質廃材		t			t								
	バイオエタノール		kL			kL								
	バイオディーゼル		kL			kL								
	バイオガス		千m ³			千m ³								
	その他バイオマス		t			t								
	RDF		t			GJ/t								
	RPF		t			GJ/t								
	廃タイヤ		t			GJ/t								
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t								
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t								
	廃油		kL			GJ/kL								
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³								
	混合廃材		t			t								
	水素		t			t								
	アンモニア		t			t								
	その他燃料()													
小 計 ①								155		11			11	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ								
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ								
	温水		GJ			GJ								
	冷水		GJ			GJ								
	地熱		GJ			GJ								
	温泉熱		GJ			GJ								
	太陽熱		GJ			GJ								
	雪氷熱		GJ			GJ								
小 計 ②														
電気	電気事業者①	485.00	千kWh	4,190		千kWh		4,190		231			231	
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh								
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh								
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh							
		水力		千kWh			千kWh							
		風力		千kWh			千kWh							
その他		千kWh			千kWh									
小 計 ③								4,190		231			231	
合 計 ④=①+②+③								4,345		242			242	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	112	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	242	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		242	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用) 【たんこう浄水場】

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(5)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
	揮発油(ガソリン)		kL			kL						
	ナフサ		kL			kL						
	ジェット燃料		kL			kL						
	灯油	0.04	kL	1		kL		1	0		0	
	軽油	0.69	kL	26		kL		26	2		2	
	A重油		kL			kL						
	B・C重油		kL			kL						
	石油アスファルト		t			t						
	石油コークス		t			t						
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t					
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t					
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
		一般炭	吹込用原料炭		t		t					
			輸入一般炭		t		t					
		国産一般炭		t		t						
	輸入無煙炭		t		t							
	石炭コークス		t		t							
	コールタール		t		t							
	コークス炉ガス		千m ³		千m ³							
	高炉ガス		千m ³		千m ³							
	発電用高炉ガス		千m ³		千m ³							
転炉ガス		千m ³		千m ³								
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³							
	()											
非化石燃料	黒液		t			t						
	木材		t			t						
	木質廃材		t			t						
	バイオエタノール		kL			kL						
	バイオディーゼル		kL			kL						
	バイオガス		千m ³			千m ³						
	その他バイオマス		t			t						
	RDF		t			GJ/t						
	RPF		t			GJ/t						
	廃タイヤ		t			GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t						
	廃油		kL			GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³			千m ³						
	混合廃材		t			t						
	水素		t			t						
	アンモニア		t			t						
	その他燃料()											
小 計 ①								28	2		2	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
	温水		GJ			GJ						
	冷水		GJ			GJ						
	地熱		GJ			GJ						
	温泉熱		GJ			GJ						
	太陽熱		GJ			GJ						
	雪氷熱		GJ			GJ						
小 計 ②												
電気	電気事業者①	471.00	千kWh	4,069		千kWh		4,069	225		225	
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh						
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
	自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
		水力		千kWh			千kWh					
		風力		千kWh			千kWh					
その他		千kWh			千kWh							
小 計 ③								4,069	225		225	
合 計 ④=①+②+③								4,097	227		227	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	106	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	227	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		227	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和5年度(2023年度)までに令和2年度(2020年度)比で3%削減するとの目標を掲げて取り組みを行っていたところ、令和4年度に基準年比で5.0%と目標を達成できなかったものの、令和3年度は-17.9%、令和5年度は-23.7%と大幅に削減でき、目標を達成することができた。

【具体的な取組状況】

1 電気

ごみ焼却による発電ができない「休炉」の際は、使用していない部屋の空調、照明を消すなど、特にも電力使用量の節減及び抑制に務めることができた。また、「休炉」の期間をできるだけ短くするよう日々の運転計画を見直すことで、買電量を低く抑えるよう取り組んだ。

2 その他の具体的な取組み

暖房運転は20℃、冷房運転は28℃と設定をし、職員が共通認識をもって取り組むことができた。
街灯の点灯時間を季節によって変更し、無駄なエネルギー消費をしないよう取り組むことができた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

コピー又は印刷の際、両面印刷や裏紙使用を積極的に進め、紙の使用量削減に取り組んだ。
地元住民との環境美化運動(花壇整備)の参加人数が年々増加している。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (5年度)

自動車			二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	31 ()	49,712 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	113,847 kg-CO ₂	4.11
軽油	32 ()	18,608 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	48,743 kg-CO ₂	3.85
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	63 (0)			162,590 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和2年度(2020年度)を基準として3年間でガソリン及び軽油の使用量を各年度1%ずつ削減する目標を掲げて取り組みを進めてきたところ、3%削減と目標を達成することができた。しかし、ガソリン消費量の大半を占める消防において緊急出動回数が増加したことでガソリン使用量は増加しており、軽油使用量の減で目標を達成することができた。

・ガソリン 基準年(R2) 41,162ℓ R3 43,533ℓ R4 47,751ℓ R5 49,712ℓ

・軽油 基準年(R2) 28,443ℓ R3 25,014ℓ R4 17,919ℓ R5 18,608ℓ

【具体的な取組状況】

・駐停車中のアイドリングストップの実施について、全職員が意識して取り組むことができた。

・急発進及び急加速を抑えるエコドライブを推進した。

・衛生センターからの近距離の移動については、徒歩とすることで公用車の使用を極力控えることができた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

公用車使用時は、作業に使用した工具やポンプ等を積載したままにすることなく、不要な物は降ろして燃料消費量の抑制に務めた。